

導入マニュアル

---

# 3D カタログの利用

## [素材]

---

# 目次

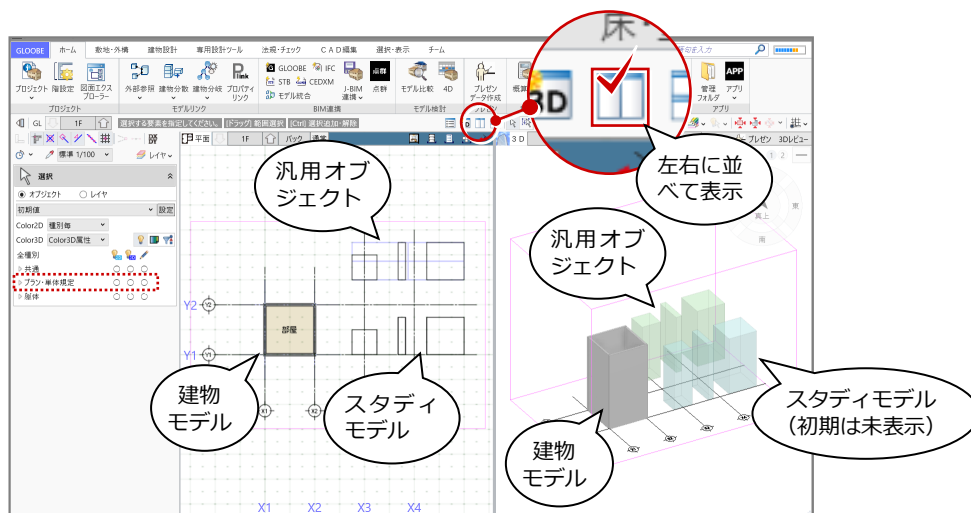
<b>1 仕上げの設定</b>	<b>3</b>
1-1 建物モデルの仕上として割り当てる	3
1-2 3Dカタログデータのダウンロード	5
1-3 スタディモデルに素材を割り当てる	8
1-4 汎用オブジェクトに素材を割り当てる	9
補足 他 3D コンテンツ（建具・外構・家具・設備・重機等）のダウンロード	7
補足 スタディモデルと汎用オブジェクトの指定方法	10
補足 「専用設計ツール」の「素材」について	10

# 1 仕上の設定

サンプルデータを使用して、外壁（他データ等）の仕上として 3D コンテンツ（素材）を設定してみましょう。

【解説用サンプルデータ】：「3DC 素材貼り付け.GLM」

※GLOOBE を起動して「3DC 素材貼り付け.GLM」を選択すると、次のような建物モデル、汎用オブジェクトモデル、スタディモデル（起動時は未表示：下図は「プラン・単体規定」を「△→○」変更例）データが開きます。



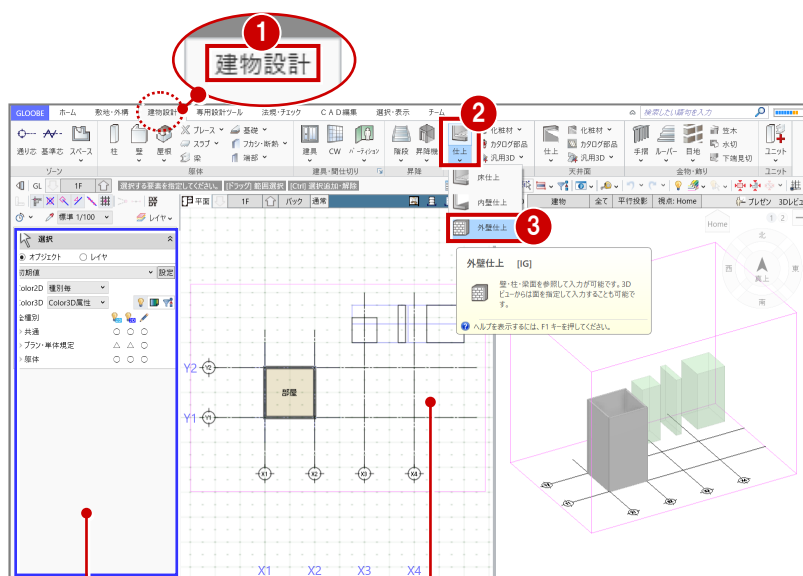
- 建物モデル：実際に建設する建物の CAD データです。サンプルでは、外壁と部屋スペースのみで入力されています。
- 汎用オブジェクト（汎用 3D）：用意された 3D 部品で足りないものを補うためのデータです。  
家具や家電、設備等を作成することができます。サンプルでは、柱状・壁状・板状データが入力されています。
- スタディモデル：建物モデルのミニチュア模型用データです。専用のモード画面へ切り替えて作成します。  
サンプルでは、柱状・壁状・板状データが入力されています。

## 1-1 建物モデルの仕上として割り当てる

### 外壁仕上を選択・割り付ける

- 1 「建物設計」のタブをクリックします。
- 2 「床・壁面」の「仕上」をクリックします。
- 3 ここでは、「外壁仕上」をクリックします。

※仕上の種類別に入力機能が存在します。



クリック後、貼り付ける対象や高さ情報、プロパティ（属性情報）の設定画面に切り替わります。

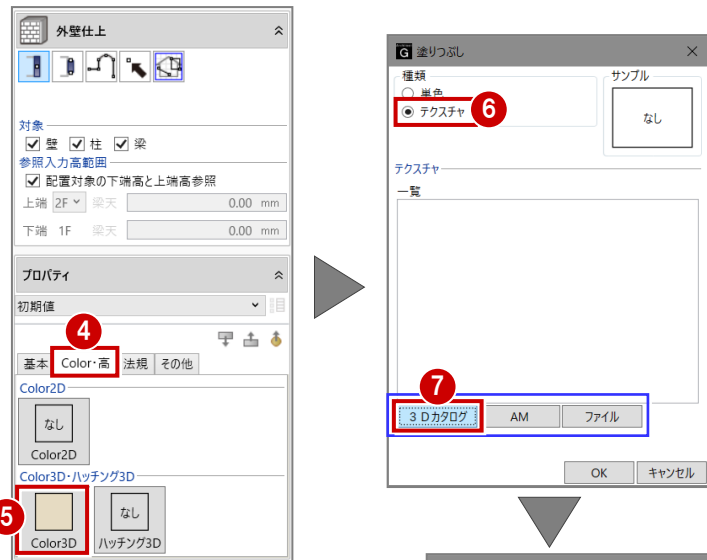
スタディモデルモードで表示されます。この時点では非表示です。

## 1 仕上の設定

4 5 外壁仕上の「プロパティ」から、「Color・高」の「Color3D」を選びます。

6 7 「テクスチャ」（素材画像）を選択して、「3D カタログ」をクリックします。

3Dカタログ : 「3D カタログマスタ」に登録されている素材より選択。  
 AM : Archi Master (アーキマスタ) に登録されている素材より選択。  
 ファイル : 任意の画像ファイルより選択。



8 9 「横張り・馬目地・ページュ」を選択して、「OK」をクリックします。

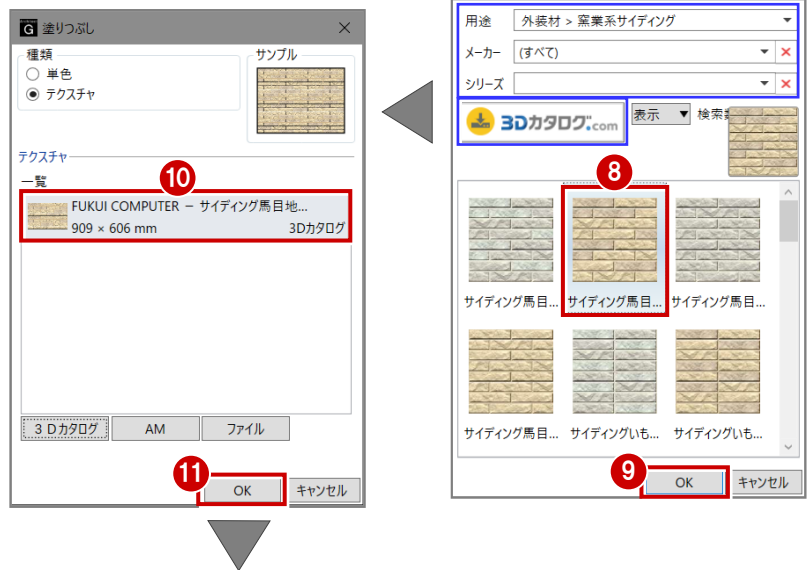
用途・メーカー・シリーズなどで絞り込み、任意の建材を選択します。  
 初期画面である程度絞られています。

一覧に使用したい素材がない場合は、3D カタログから素材をダウンロードします。  
 「1-2 3D カタログデータのダウンロード」参照

10 3DカタログのテクスチャがGLOOBEの外壁素材として登録されました。

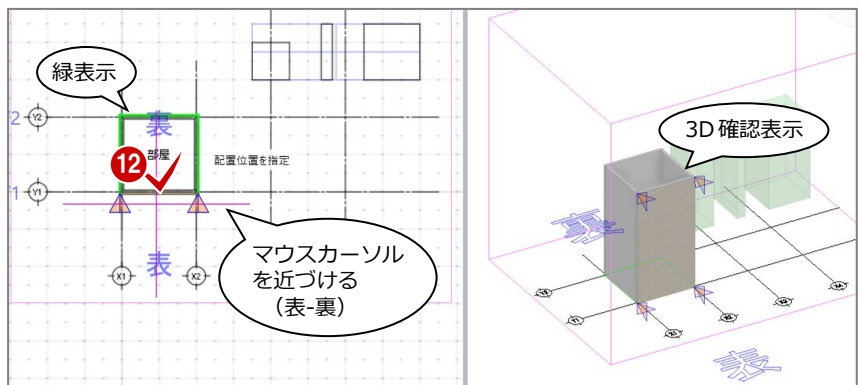
11 「OK」をクリックします。

入力する壁仕上に「横張り・馬目地・ページュ」が選択されました。

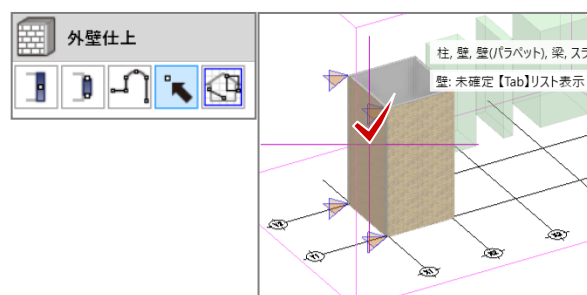


仕上げ入力可能箇所が緑に表示されます。

12 外壁にマウスカーソルを近づけ、右図の様な「表-裏」が表示される位置でクリックします。(△-△が幅)  
 3D ビューでも確認することができます。



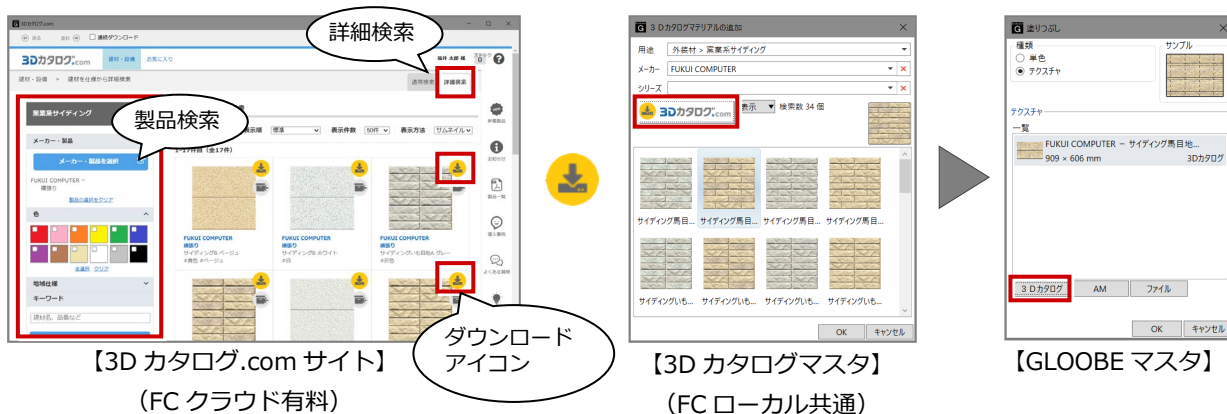
「面指定」入力の場合、3D ビューから入力することができます。



## 1-2 3D カタログデータのダウンロード

### 3D カタログとは [3Dカタログ.com](https://3dcatalog.com)

「3D カタログ」とは、提供メーカーと提携し、その製品を福井コンピュータがCAD に利用できる様に製作した 3D コンテンツを指します。標準（フリー）の福井コンピュータオリジナルコンテンツは出荷時に GLOOBE に収納されています。製品追加や仕様変更時、「3D カタログ.com サイト」からダウンロードすることで 3D コンテンツを追加・更新することができます。



なお、「3D カタログ.com サイト」からダウンロードするには、有料会員 A 契約が必要です。  
※有料会員には A プラン、B プランがあります。(下図：2023/3/1 時)

有料会員ご契約プラン		Aプラン 月額2,000円 (税抜)	Bプラン 月額3,500円 (税抜)
サービス内容			
3Dシミュレーション (建材・設備・空間)		✓	✓
お気に入り登録・イメージボード出力		✓	✓
コンテンツのCAD利用 ※1		✓	✓
オリジナルカタログ		✓	✓
ARCHITREND ZERO 外皮性能計算連携 ※2		✓	✓
まどりっち⇒ARCHITREND ZERO・Modelio連携 ※3		✓	✓
まどりっち⇄ARCHITREND ZERO・Modelio連携 (双方向連携) ※3		—	✓
ご提案機能 (カラーコーディネート提案/3Dバーチャル展示場) ※4		—	✓
データ共有サービス ARCHITREND Drive (ATDrive) 容量50GB		—	✓
WEB申請書作成サービス		—	✓
オプション	CAD用添景データ DATASTATION ※有料会員AまたはBプランに追加できるオプションです。 提供元 (株) ファイン	選択可 月額1,500円 (税抜)	選択可 月額1,500円 (税抜)
	データ共有サービス ARCHITREND Drive (ATDrive) 容量追加50GB ※有料会員Bプランに追加できるオプションです。	—	追加可 月額2,500円 (税抜)

※サービス内容は「3Dカタログ.comサイト」を参照してください。

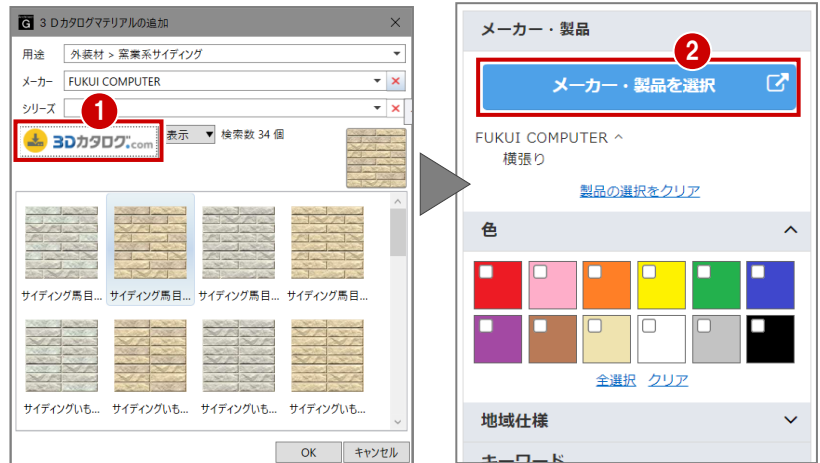
※GLOOBE 起動時に「3D カタログ.com 設定」画面が表示されたら、[こちらのヘルプをお読みください](#)。

## 1 仕上の設定

### 3D カタログ com サイトからダウンロードする

目的の3Dコンテンツが「3Dカタログマスタ」に無い場合、インターネットを利用して「3Dカタログ.com」サイトから検索します。

- 1 「3Dカタログ.com」をクリックします。「3Dカタログ.com」サイトが開きます。
- 2 「詳細検索」画面左枠の「メーカー・製品を選択」をクリックします。



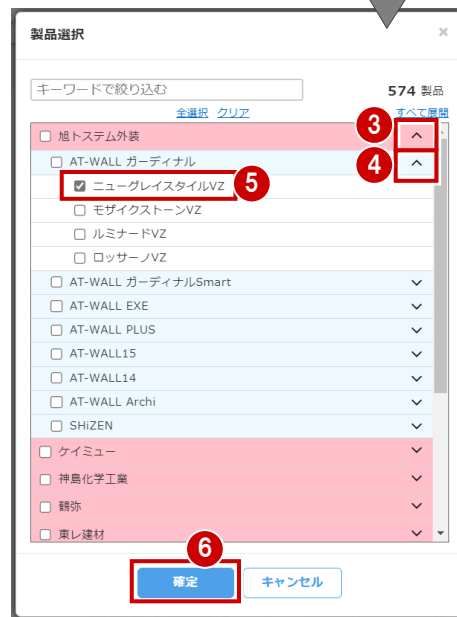
- 3 4 5 希望メーカー名欄、製品シリーズ・製品名(画面例)を選択します。

※サイト更新状況で表示される内容は逐次変わります。

- 6 「確定」をクリックします。絞り込まれた製品が抽出されます。

- 7 「確定」対象製品の「ダウンロード」をクリックします。3Dカタログマスタに登録されます。

- 8 9 対象製品を選択して「OK」をクリックします。GLOBEマスタに追加登録されます。



#### ダウンロードの方法

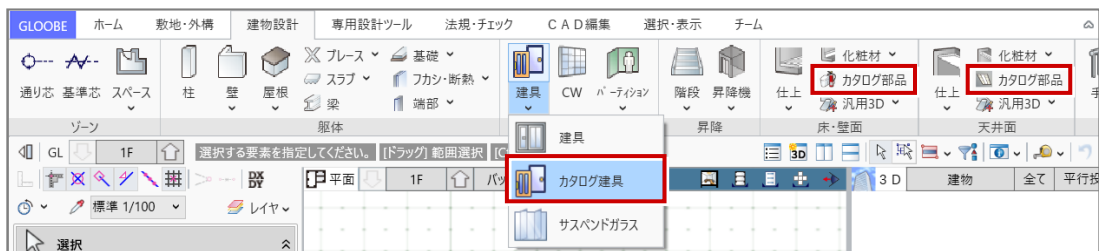
- ・ 1 製品ごとダウンロード：本書解説の方法
- ・ サイト画面を閉じずに継続：連続ダウンロード
- ・ 複数製品をまとめて一括ダウンロード：ストック

→「連続ダウンロード」「ストックダウンロード」の手順は、[3Dカタログ.comサイトのヘルプを参照](#)してください。

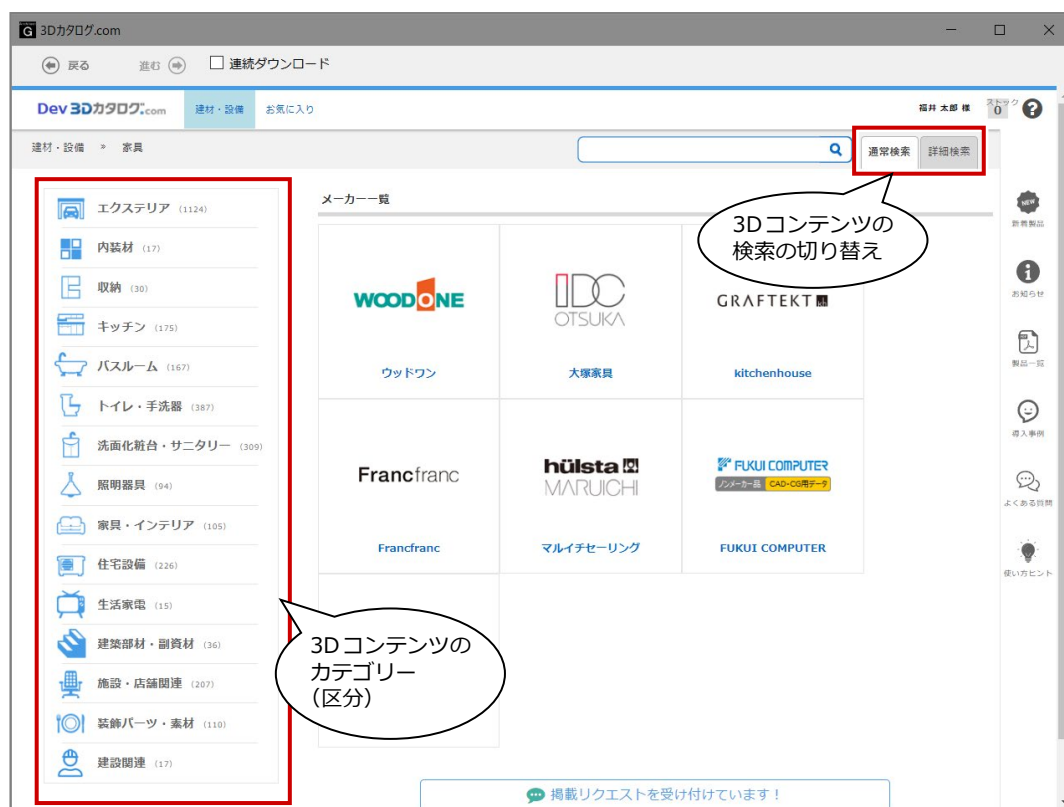
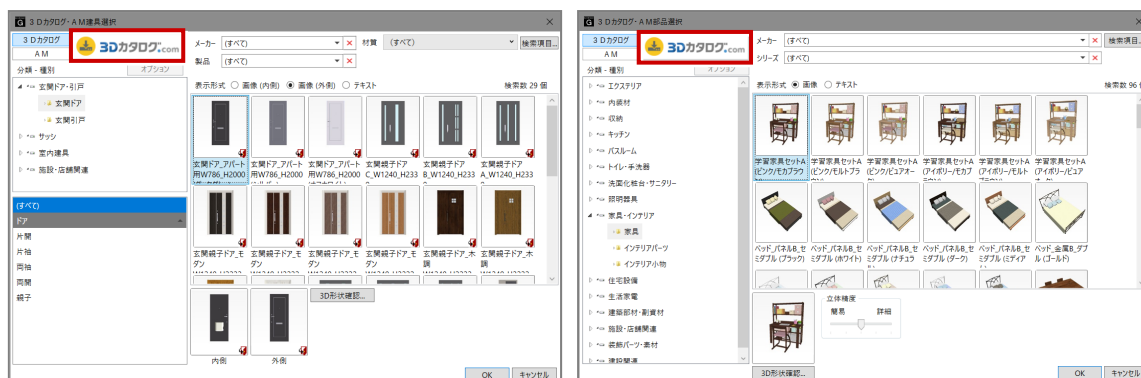


## 他 3D コンテンツ（建具・外構・家具・設備・重機等）のダウンロード

素材以外にも 3D コンテンツ（建具・外構・家具・設備・自動車・重機等）があり、“カタログ”と表示される機能が相当します。



それぞれの画面にある **3Dカタログ.com** からサイトに接続でき、3D コンテンツをダウンロードすることができます。



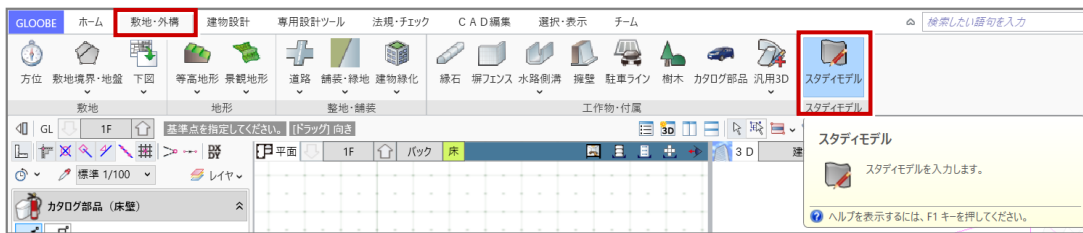
→「連続ダウンロード」「ストックダウンロード」の手順は、[3Dカタログ.comサイトのヘルプ](#)を参照してください。

# 1-3 スタディモデルに素材を割り当てる

## スタディモデルとは

「スタディモデル」とは、建物モデルのミニチュア模型用データです。

「敷地・外構」タブの「スタディモデル」より、専用のモード画面へ切り替えて作成します。



## 素材を割り付ける

①② 「素材」の「素材」をクリックします。

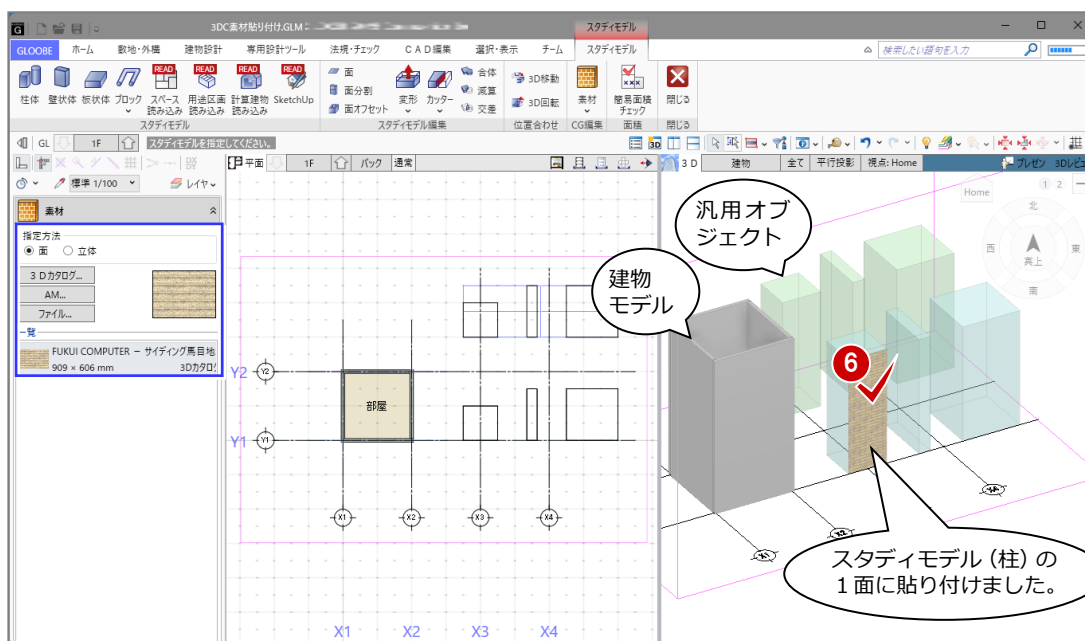
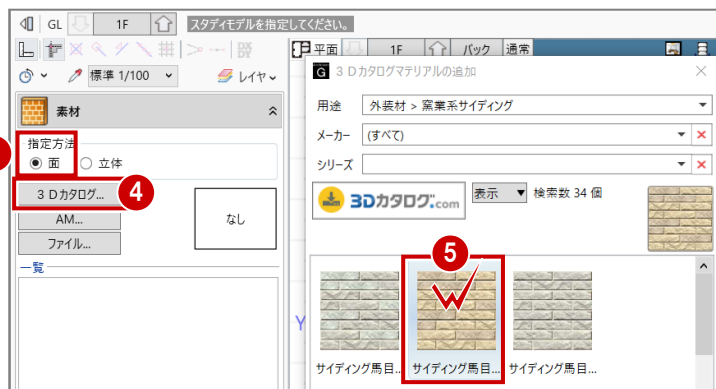
③ 「指定方法」の「面」をクリックします。

④ 「3Dカタログ」をクリックします。

⑤ 割り付ける素材をダブルクリックします。

⑥ スタディモデル（柱）の1面をクリックします。

※他の素材を貼り付ける場合は、同様に繰り返します。

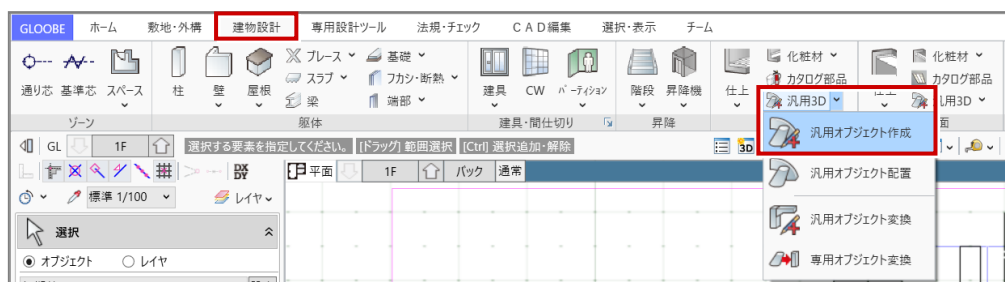




## 1-4 汎用オブジェクトに素材を割り当てる

### 汎用オブジェクトとは

「汎用オブジェクト（汎用 3D）」とは、用意された 3D 部品で足りない家具や家電、設備等を作成することができます。「敷地・外構」「建物設計」タブの「汎用 3D」より、専用のモード画面へ切り替えて作成します。（下図例：床・壁面）

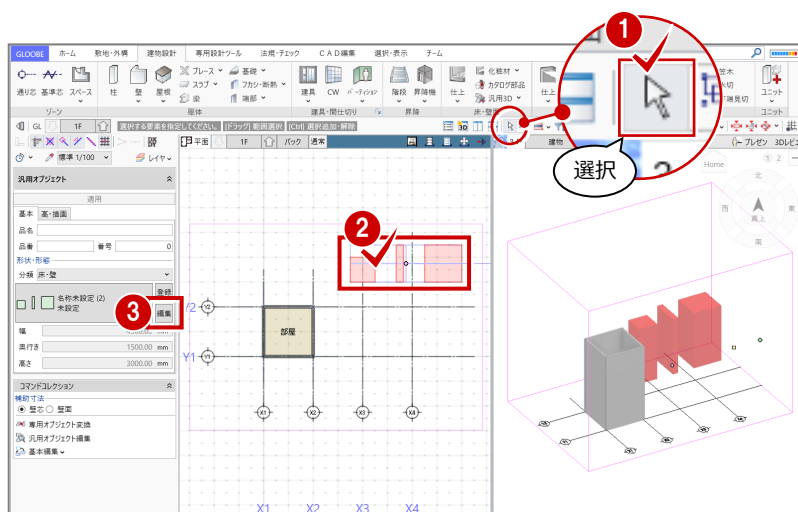


本書では、サンプルデータ（柱状・壁状・板状データ）を編集する流れで解説します。

### 汎用 3D を選択する

- ① 「選択」をクリックします。
- ② サンプルデータ材をクリックします。
- ③ 「編集」をクリックします。

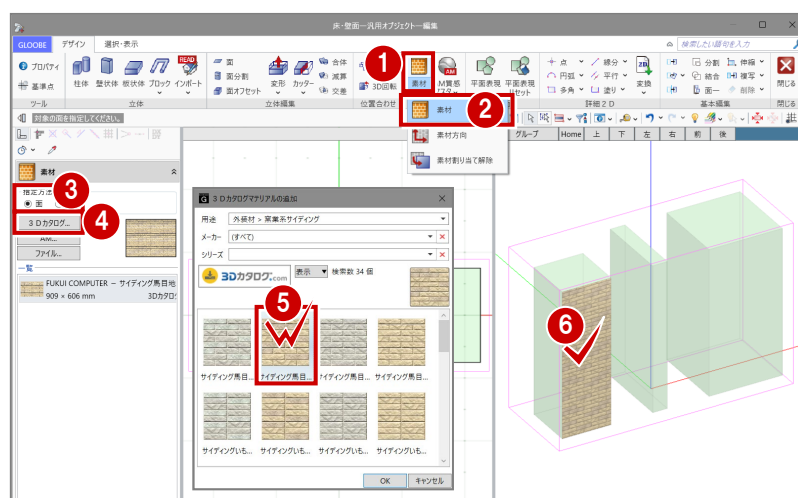
汎用オブジェクトの編集画面へ切り替わります。



### 素材を割り付ける

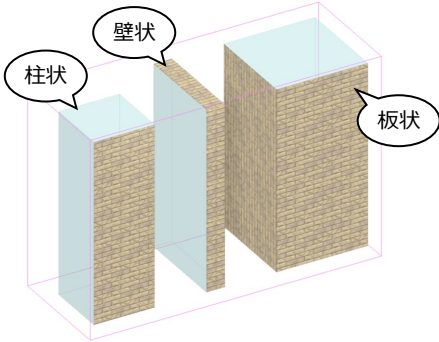
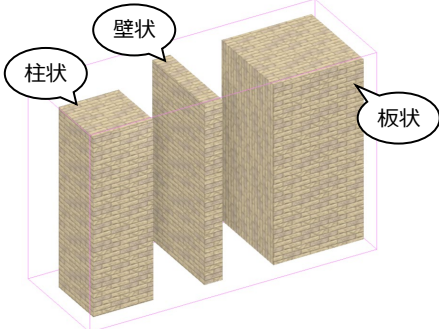
- ① 「素材」をクリックします。
- ② 「素材」をクリックします。
- ③ 「面」をクリックします。
- ④ 「3D カタログ」をクリックします。
- ⑤ 割り付ける素材をダブルクリックします。
- ⑥ 汎用オブジェクトの 1 面をクリックします。

※他の素材を貼り付ける場合は、同様に繰り返します。



スタディモデルと汎用オブジェクトの指定方法について

素材割り付けの指定方法（面、立体）は、下記を参考にしてください。

指定方法	スタディモデル/汎用オブジェクト
面	<p>指定する面だけを対象とします。</p>  <p>※データにより“面”の概念が異なります。指定する面のみに素材を貼り付けるには、モデルやオブジェクトを作成するときに「パラメータを保持する」を OFF にします。</p>
立体	<p>モデル全体の面をまとめて対象とします。</p> 

※機能詳細については、「[GLOBE Architect ヘルプ](#)」を参照してください。

「専用設計ツール」の「素材」について

「専用設計ツール」の「素材」は、建物設計モデルとスタディモデルに素材を割り付けることができます。

